2016.8.7

# 第１３回

**A『カーテン：ポワロ最後の事件』**

**アガサ・クリスティ／著　中村能三／訳　ハヤカワ文庫　2004 年 617 円（税込）**

ISBN: 978-4-15-131033-1

ヘイスティングズは親友ポアロの招待で懐かしきスタイルズ荘を訪れた。老いて病床にある名探偵は、過去に起きた何のつながりもなさそうな五件の殺人事件を示す。その陰に真犯人Ｘが存在する。しかもそのＸはここ、スタイルズ荘にいるというのだ…全盛期に執筆され長らく封印されてきた衝撃の問題作。新訳決定版。

**B『真田太平記 改版』(1-12 巻)**

**池波正太郎／著　新潮文庫 2005 年　各 810 円（税込）　ISBN: 4-10-115634-4**

天下分け目の決戦を、父・弟と兄とが豊臣方と徳川方とに別れて戦った信州・真田家の波瀾にとんだ歴史をたどる大河小説。全 12 巻。天正 10 年(1582 年)3 月、織田・徳川連合軍によって戦国随一の精強さを誇った武田軍団が滅ぼされ、宿将真田昌幸は上・信二州に孤立、試練の時を迎えたところからこの長い物語は始まる。武勇と知謀に長けた昌幸は、天下の帰趨を探るべく手飼いの真田忍びたちを四方に飛ばせ、新しい時代の主・織田信長にいったんは臣従するのだが、その夏、またも驚天動地の事態が待ちうけていた。

チャンプ本

**C『センチメンタルな旅・冬の旅』**

**荒木経惟／著　新潮社 1991 年　3240 円（税込）SBN: 4-10-380001-1**

これは愛の讃歌であり、愛の鎮魂歌である。新婚旅行での“愛”を記録、私家版『センタメンタルな旅』から 21 枚。妻の死の軌跡を凝視する私小説的写真日記『冬の旅』91 枚。既成の写真世界を超えて語りかける生と死のドラマ。

**D『目でみることば』**

**おかべたかし／文　山出高士／写真　東京書籍　2013 年　1404 円（税込）**

ISBN: 978-4-487-80787-1

「阿吽の呼吸」「うだつが上がらない」「几帳面」「蓼食う虫も好き好き」「とどのつまり」「埒が明かない」など、40 のことばの由来となったものを写真で紹介。言葉の詳しい解説と関連情報も掲載。

**E『ガケ書房の頃』**

**山下賢二／著　夏葉社　2016 年　1944 円（税込）　ISBN: 978-4-904816-19-6**

目立つ外観と独特の品揃え、店内音楽ライブなどでファンから愛された京都市左京区の本屋・ガケ書房。その店主が、店を移転・改名するまでの１１年間とその青春、未来を綴る。